

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成23年11月11日
【四半期会計期間】	第66期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	イサム塗料株式会社
【英訳名】	Isamu Paint Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 古川 雅一
【本店の所在の場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06) 6458 - 0036
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 佐藤 貢
【最寄りの連絡場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06) 6453 - 4511
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 佐藤 貢
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第65期 第2四半期 連結累計期間	第66期 第2四半期 連結累計期間	第65期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
売上高(千円)	3,904,736	4,055,416	7,771,818
経常利益(千円)	426,458	581,373	943,549
四半期(当期)純利益(千円)	301,548	275,224	571,502
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	246,149	250,653	533,809
純資産額(千円)	10,477,334	10,911,585	10,714,188
総資産額(千円)	14,194,874	14,905,458	14,514,650
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	29.66	27.08	56.22
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	72.1	71.6	72.1
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	170,101	443,159	676,169
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	362,781	190,051	355,174
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	99,575	106,434	208,106
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	1,289,266	2,221,186	1,694,410

回次	第65期 第2四半期 連結会計期間	第66期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成22年 7月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	25.97	19.25

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 第65期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による最悪期は脱しつつあるものの、欧米の財政不安を背景として戦後最高水準で推移する円高等の影響は大きく、景気は予断を許さない厳しい状況のまま推移しました。

このような環境のもと、当社グループは、顧客のニーズに応える環境対応型塗料や高機能性塗料の開発に注力し、販路拡大に向けた積極的な営業活動を展開するとともに、生産体制の見直しなどを行うなど、より一層の経営の効率化に取組みました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、40億55百万円（前年同四半期比3.9%増加）となりました。また、利益面につきましては、営業利益は4億85百万円（前年同四半期比31.6%増加）、経常利益は5億81百万円（前年同四半期比36.3%増加）となり、四半期純利益は2億75百万円（前年同四半期比8.7%減少）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 塗料事業

売上高は40億2百万円（前年同四半期比3.9%増加）、営業利益は4億65百万円（前年同四半期比32.8%増加）であります。

#### その他

売上高は53百万円（前年同四半期比0.7%増加）、営業利益は19百万円（前年同四半期比8.1%増加）であります。

#### (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の財政状況は、前連結会計年度末と比較して、資産は3億91百万円増加、負債は1億93百万円の増加、純資産は1億97百万円増加しました。

資産の増加の主なものは、現金及び預金9億37百万円、受取手形及び売掛金2億6百万円、有価証券1億円、減少の主なものは投資有価証券6億44百万円、長期預金80百万円であります。

負債の増加の主なものは、支払手形及び買掛金1億22百万円、未払法人税等1億5百万円であります。

また、純資産の増加の主な要因は、利益剰余金2億25百万円となっております。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ5億27百万円増加し、22億21百万円(前年同四半期末12億89百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、4億43百万円(前年同四半期1億70百万円)となりました。

その主な要因は、増加した資金では税金等調整前四半期純利益5億72百万円、仕入債務の増加1億22百万円、減少した資金では売上債権の増加2億6百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の増加は、1億90百万円(前年同四半期3億63百万円減少)となりました。

その主な要因は、増加した資金では定期預金の払戻16億70百万円、有価証券の売却及び償還2億50百万円、投資有価証券の売却及び償還6億2百万円、減少した資金では定期預金の預入20億円、有価証券の取得3億50百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、1億6百万円(前年同四半期1億円)となりました。

その主な要因は、配当金の支払額50百万円、長期借入金の返済26百万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題については、重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、69百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	48,000,000
計	48,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成23年11月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	12,000,000	12,000,000	大阪証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	12,000,000	12,000,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日		12,000,000		1,290,400		1,209,925

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
北村初美	大阪市福島区	2,216	18.46
北村健	大阪市福島区	2,211	18.42
イサム塗料栄勇会	大阪市福島区鷺洲2-15-24	1,062	8.85
第一生命保険株式会社	東京都千代田区有楽町1-13-1	767	6.39
進勇商事株式会社	大阪市福島区鷺洲2-15-24	225	1.87
イサム塗料従業員持株会	大阪市福島区鷺洲2-15-24	208	1.73
長瀬産業株式会社	東京都中央区日本橋小舟町5-1	180	1.50
イサム土地建物株式会社	大阪市福島区鷺洲2-15-24	170	1.41
石原産業株式会社	大阪市西区江戸堀1-3-15	120	1.00
ダイセル化学工業株式会社	大阪市北区梅田3-4-5	108	0.90
計	-	7,268	60.56

(注) 1. イサム塗料栄勇会は取引先を対象とした持株会であります。

2. 上記のほか、当社所有の自己株式が1,754千株(所有株式数の割合:14.61%)あります。

3. イサム土地建物株式会社が所有している株式については、会社法施行規則第67条第1項の規定により議決権を有しておりません。

(7)【議決権の状況】  
 【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,754,000	-	-
	(相互保有株式) 普通株式 170,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,958,000	9,958	-
単元未満株式	普通株式 118,000	-	-
発行済株式総数	12,000,000	-	-
総株主の議決権	-	9,958	-

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) イサム塗料株式会社	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号	1,754,000	-	1,754,000	14.61
(相互保有株式) イサム土地建物株式会社	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号	170,000	-	170,000	1.41
計	-	1,924,000	-	1,924,000	16.03

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清稜監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	3,374,410	4,311,186
受取手形及び売掛金	2,383,586	2,589,554
有価証券	300,700	400,701
商品及び製品	729,884	718,584
仕掛品	79,969	74,737
原材料及び貯蔵品	195,149	203,326
繰延税金資産	86,640	100,548
その他	46,611	47,499
貸倒引当金	39,940	25,930
流動資産合計	7,157,009	8,420,205
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	2,423,988	2,425,198
減価償却累計額	1,156,227	1,194,185
建物及び構築物(純額)	1,267,761	1,231,013
機械及び装置	345,120	345,224
減価償却累計額	292,783	299,622
機械及び装置(純額)	52,337	45,602
工具、器具及び備品	362,355	361,857
減価償却累計額	323,779	328,028
工具、器具及び備品(純額)	38,576	33,829
土地	1,344,467	1,344,467
リース資産	72,359	22,777
減価償却累計額	65,358	18,509
リース資産(純額)	7,001	4,268
有形固定資産合計	2,710,142	2,659,179
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	36,196	32,225
ソフトウェア仮勘定	57,746	72,204
施設利用権	7,711	7,250
電話加入権	6,310	6,310
リース資産	194,554	171,120
無形固定資産合計	302,517	289,109
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	2,381,491	1,737,488
長期貸付金	3,258	222
長期預金	980,000	900,000
保険積立金	695,212	659,059
繰延税金資産	248,823	211,929
その他	39,946	31,595
貸倒引当金	3,748	3,328
投資その他の資産合計	4,344,982	3,536,965
固定資産合計	7,357,641	6,485,253
資産合計	14,514,650	14,905,458

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,594,760	1,716,449
1年内返済予定の長期借入金	52,000	52,000
リース債務	53,804	51,572
未払金	162,055	124,576
未払法人税等	151,745	257,144
未払消費税等	26,340	29,934
預り金	64,825	54,277
賞与引当金	108,391	108,611
その他	29	43,753
流動負債合計	2,213,949	2,438,316
固定負債		
長期借入金	501,000	475,000
長期預り保証金	246,992	248,420
リース債務	157,921	132,759
繰延税金負債	3,096	926
退職給付引当金	473,191	486,607
役員退職慰労引当金	67,074	75,790
修繕引当金	20,000	25,000
負ののれん	86,791	81,005
金利スワップ	30,449	30,050
固定負債合計	1,586,514	1,555,557
負債合計	3,800,463	3,993,873
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,290,400	1,290,400
資本剰余金	1,209,925	1,209,925
利益剰余金	8,646,793	8,871,631
自己株式	708,604	709,013
株主資本合計	10,438,515	10,662,943
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,054	19,917
繰延ヘッジ損益	18,123	17,886
その他の包括利益累計額合計	27,931	2,031
少数株主持分	247,742	246,611
純資産合計	10,714,188	10,911,585
負債純資産合計	14,514,650	14,905,458

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	3,904,736	4,055,416
売上原価	2,583,154	2,618,435
売上総利益	1,321,582	1,436,981
販売費及び一般管理費	953,339	952,308
営業利益	368,243	484,673
営業外収益		
受取利息	3,849	4,359
有価証券利息	10,674	13,049
受取配当金	4,841	4,444
受取賃貸料	26,935	27,300
塗装情報サービス会費	12,196	10,660
生命保険満期差益	3,637	16,979
負ののれん償却額	5,786	5,786
貸倒引当金戻入額	-	14,430
その他	9,605	8,901
営業外収益合計	77,523	105,908
営業外費用		
支払利息	10,057	9,176
支払補償費	365	-
持分法による投資損失	8,334	-
その他	552	32
営業外費用合計	19,308	9,208
経常利益	426,458	581,373
特別利益		
貸倒引当金戻入額	4,158	-
株式受贈益	15,847	-
退職給付制度改定益	125,634	-
特別利益合計	145,639	-
特別損失		
役員退職慰労金	38,461	-
たな卸資産廃棄損	1,085	-
災害による損失	-	9,134
特別損失合計	39,546	9,134
税金等調整前四半期純利益	532,551	572,239
法人税、住民税及び事業税	129,406	256,998
法人税等調整額	98,587	38,689
法人税等合計	227,993	295,687
少数株主損益調整前四半期純利益	304,558	276,552
少数株主利益	3,010	1,328
四半期純利益	301,548	275,224

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	304,558	276,552
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41,256	26,136
繰延ヘッジ損益	22,911	237
為替換算調整勘定	5,757	-
その他の包括利益合計	58,410	25,899
四半期包括利益	246,149	250,653
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	254,961	251,858
少数株主に係る四半期包括利益	8,812	1,205

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	532,551	572,239
減価償却費	84,420	84,849
退職給付引当金の増減額(は減少)	134,308	13,417
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	115,159	8,716
賞与引当金の増減額(は減少)	32	220
修繕引当金の増減額(は減少)	5,000	5,000
負ののれん償却額	5,786	5,786
貸倒引当金の増減額(は減少)	4,158	14,430
受取利息及び受取配当金	19,364	21,852
支払利息	10,057	9,176
持分法による投資損益(は益)	8,334	-
災害損失	-	8,465
株式受贈益	15,847	-
売上債権の増減額(は増加)	138,164	205,968
たな卸資産の増減額(は増加)	109,655	5,114
仕入債務の増減額(は減少)	46,488	121,689
未払金の増減額(は減少)	28,134	3,225
未収消費税等の増減額(は増加)	4,990	-
未払消費税等の増減額(は減少)	28,857	3,595
その他	35,131	3,975
小計	334,269	577,244
利息及び配当金の受取額	21,237	26,882
利息の支払額	10,237	9,222
法人税等の支払額	175,168	151,745
営業活動によるキャッシュ・フロー	170,101	443,159
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	680,000	2,000,000
定期預金の払戻による収入	634,006	1,670,000
有価証券の取得による支出	200,000	350,000
有価証券の売却及び償還による収入	-	250,000
有形固定資産の取得による支出	19,623	3,592
無形固定資産の取得による支出	24,788	16,908
投資有価証券の取得による支出	51,127	598
投資有価証券の売却及び償還による収入	-	601,593
保険積立金の積立による支出	34,669	38,913
保険積立金の払戻による収入	11,416	75,065
その他	2,006	3,404
投資活動によるキャッシュ・フロー	362,781	190,051

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	26,000	26,000
自己株式の純増減額（は増加）	191	410
リース債務の返済による支出	20,810	27,395
配当金の支払額	50,115	50,170
少数株主への配当金の支払額	2,459	2,459
財務活動によるキャッシュ・フロー	99,575	106,434
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	292,255	526,776
現金及び現金同等物の期首残高	1,581,521	1,694,410
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,289,266	2,221,186

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

輸出貿易信用状取引

輸出貿易信用状取引における銀行間決済未済の銀行手形買取残高があります。

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
銀行手形買取残高	9,053千円	7,277千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
運送費	84,538千円	89,835千円
宣伝費	54,213千円	52,945千円
役員報酬	49,282千円	47,900千円
従業員給料	308,920千円	305,888千円
賞与及び賞与引当金繰入額	81,585千円	81,844千円
福利厚生費	73,107千円	74,734千円
役員退職慰労引当金繰入額	15,070千円	9,448千円
退職給付費用	24,058千円	24,919千円
減価償却費	38,644千円	41,405千円
支払手数料	82,775千円	79,068千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
現金及び預金勘定	2,969,266千円	4,311,186千円
有価証券	250,700千円	-千円
計	3,219,966千円	4,311,186千円
預入期間が3か月を越える定期預金	1,680,000千円	2,090,000千円
MMF及びCP以外の有価証券	250,700千円	-千円
現金及び現金同等物	1,289,266千円	2,221,186千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	51,246	5	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年11月10日 取締役会	普通株式	51,243	5	平成22年9月30日	平成22年12月10日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動に関する事項  
 該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	51,236	5	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月10日 取締役会	普通株式	51,229	5	平成23年9月30日	平成23年12月9日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動に関する事項  
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント	その他 (千円)	合計 (千円)	調整額 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円)
	塗料事業 (千円)				
売上高					
外部顧客への売上高	3,852,089	52,647	3,904,736	-	3,904,736
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,852,089	52,647	3,904,736	-	3,904,736
セグメント利益	350,293	17,950	368,243	-	368,243

(注) 1. その他は不動産賃貸業に係るものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報  
 該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント	その他 (千円)	合計 (千円)	調整額 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円)
	塗料事業 (千円)				
売上高					
外部顧客への売上高	4,002,383	53,033	4,055,416	-	4,055,416
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	4,002,383	53,033	4,055,416	-	4,055,416
セグメント利益	465,262	19,411	484,673	-	484,673

(注) 1. その他は不動産賃貸業に係るものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報  
 該当事項はありません。

(金融商品関係)

前連結会計年度末(平成23年3月31日)

科目	連結貸借対照表計上額 (千円)	時価(千円)	差額(千円)
(1) 有価証券	300,700	300,920	220
(2) 投資有価証券	2,371,299	2,054,820	316,479

(注) 金融商品の時価の算定方法

(1) 有価証券、(2) 投資有価証券

有価証券および投資有価証券の時価については、市場価格又は取引金融機関等から提示された価格等によっております。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは含まれておりません。

当第2四半期連結会計期間末(平成23年9月30日)

有価証券及び投資有価証券が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

科目	四半期連結貸借対照表計上額 (千円)	時価(千円)	差額(千円)
(1) 有価証券	400,701	400,736	35
(2) 投資有価証券	1,727,296	1,444,816	282,480

(注) 金融商品の時価の算定方法

(1) 有価証券、(2) 投資有価証券

有価証券および投資有価証券の時価については、市場価格又は取引金融機関等から提示された価格等によっております。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは含まれておりません。

(有価証券関係)

前連結会計年度末(平成23年3月31日)

1. 満期保有目的の債券

	連結貸借対照表計上額 (千円)	時価(千円)	差額(千円)
(1) 国債・地方債等	-	-	-
(2) 社債	100,000	101,135	1,135
(3) その他	2,049,098	1,731,704	317,394
合計	2,149,098	1,832,839	316,259

2. その他有価証券

	取得原価(千円)	連結貸借対照表計上額 (千円)	差額(千円)
(1) 株式	243,037	319,257	76,220
(2) 債券	-	-	-
(3) その他	202,159	203,644	1,485
合計	445,196	522,901	77,705

(注) 非上場株式(連結貸借対照表計上額 10,192千円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

当第2四半期連結会計期間末（平成23年9月30日）  
 満期保有目的の債券及びその他有価証券が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

1. 満期保有目的の債券

	四半期連結貸借対照表 計上額（千円）	時価（千円）	差額（千円）
(1) 国債・地方債等	-	-	-
(2) 社債	50,000	50,975	975
(3) その他	1,449,562	1,166,142	283,420
合計	1,499,562	1,217,117	282,445

2. その他有価証券

	取得原価（千円）	四半期連結貸借対照表 計上額（千円）	差額（千円）
(1) 株式	244,201	277,733	33,532
(2) 債券	-	-	-
(3) その他	350,701	350,701	-
合計	594,902	628,434	33,532

（注）非上場株式（四半期連結貸借対照表計上額 10,192千円）については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

（デリバティブ取引関係）

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）
1株当たり四半期純利益金額	29.66円	27.08円
（算定上の基礎）		
四半期純利益金額（千円）	301,548	275,224
普通株主に帰属しない金額（千円）		
普通株式に係る四半期純利益金額（千円）	301,548	275,224
普通株式の期中平均株式数（株）	10,166,554	10,164,196

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

## 2【その他】

第66期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）中間配当については、平成23年11月10日開催の取締役会において、平成23年9月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

中間配当による配当金の総額.....51,229千円  
1株当たりの金額.....5円  
支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成23年12月9日

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月10日

イサム塗料株式会社  
取締役会 御中

### 清稜監査法人

代表社員 公認会計士 高橋 弘 印  
業務執行社員

代表社員 公認会計士 松嶋 秀行 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイサム塗料株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析のその他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イサム塗料株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は四半期報告書提出会社が別途保管しています。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。